

令和 6 年度練馬区立幼稚園のあり方検討委員会（第 2 回）の要点

日	時	令和 7 年 3 月 25 日（火）
時	間	18 時 30 分から 20 時 30 分
場	所	練馬区役所本庁舎 12 階 練馬区 教育委員会室
出 席 者	学識経験者、練馬区私立幼稚園協会、区立幼稚園長、区職員	

開会

- 1 前回会議の要点説明
- 2 幼稚園在園児等の保護者に対するアンケート結果の報告
- 3 アンケート結果を踏まえた区立幼稚園のあり方について

【委員からの主な意見】

- ・ 社会的に低年齢での就園が多い中、家庭での保育も重要と考えており、区立幼稚園が 2 年保育を行っていることは価値がある。
- ・ 区立幼稚園には、公立園としての役割を踏まえた運営をしてほしい。
- ・ 区立幼稚園の入園希望者の中で、2 年保育をあえて選んだ家庭の割合は非常に少ない。かつては家庭保育の重要性も説かれていたが、現状では保護者からの 3 年保育の要望は多い。また、多様な園児や保護者に対する手厚い支援のためにも 3 年保育は重要だと考える。
- ・ アンケート結果から、区立幼稚園の良さとして「教育方針」や「教諭の質」が選ばれている。実際に園長先生自ら療育相談を受けるなどソーシャルワーク機能が機能しつつ、障害のある子もない子も外国籍の子もいるという多様な人とかわりあえる環境が実現されている。こういった園の状況において、3 年保育は必要なことである。
- ・ 保護者のニーズを吸い上げて施策を検討するのは行政としての役割と理解している。一方で、公立園としての役割もあると思う。子育てをしている専業主婦（夫）などは孤立感を抱いている場合も多い。そういった方への支援など、地域的な拠点となるのも公立園としての役割と思う。区立幼稚園には、公立園としての役割を踏まえた運営をしてほしい。
- ・ 私立幼稚園では障害児のための職員加配に限度がある。区立幼稚園には潤沢な人

材がいることから、療育が必要な子の3年保育は区立幼稚園の役割だと思う。

- ・ 区立幼稚園の利用者は約半数が障害児という状況での、「教諭の質が良い」、「配慮が必要な園児の理解がある」というアンケート回答結果は、公立園の良さが出ていると思う。このような利用者の背景を踏まえた区立幼稚園のあり方を検討していく必要がある。また、区立幼稚園では、区の施策が展開しやすいという利点もあり、実際に1歳児1年保育や2歳児1年保育の実施もされている。3年保育が実施されれば、そこで区立園の良さを感じた人達が区立園に継続して入園するという選択肢ができるため、3年保育の意味が生まれてくると思う。
- ・ 私立幼稚園の運営は、どうしても園児確保のためにサービス業化してしまう。経営にしばられず教育ができるのも区立幼稚園の強みだと思う。
- ・ 障害児保育が区立幼稚園の良さなのではなく、個々の子どもに寄り添うという姿勢が結果的に障害児にとっても良い保育となっているのだと思う。ただ、手厚い人員が良さである一方、幼稚園の主役は子どもたちである。障害児を介助する人員だけでなく、別の視点から支援できるような方を配置し、居場所をつくることも必要だと思う。
- ・ アンケート結果では、区立幼稚園のことをよく知らなかったという回答もあった。子どもには、切れ目のない教育、つながる支援が必要だと思う。早い段階で区立幼稚園に触れて、知ってもらい、併せて3年保育により早い段階でのつながりを確保することも有意義だと思う。
- ・ 区立幼稚園の良さとしては、小学校との連携体制が挙げられると思う。連携のノウハウを私立幼稚園へ広げ、幼小連携を進めていくことで、その地域の教育の質が上がっていくことになる。区立幼稚園はその拠点となり得る。
- ・ 私立幼稚園と違う、区立幼稚園としての良さがあるという点はその通りと思う。しかし、最近の傾向として園児数は年々減少し、支援が必要な児童の割合が増加しており、今後園運営の根幹となるクラス運営自体が難しくなることを危惧している。区立幼稚園の良さを最大限に引き出し、発信していくためにも、園児数の確保や障害児の割合を考えていく必要はあると思う。
- ・ アンケートでは、区立幼稚園に対して求める要望として「3年保育の実施」「預かり保育の実施」「給食の提供」が挙げられている。しかし、今後の区立幼稚園のあり方を考えるに当たっては、そもそも練馬区が考える区立幼稚園の教育環境の展望をベースにすべきであり、そのための手段として「3年保育の実施」などを検討すべきと思う。アンケート結果だけで区立幼稚園のあり方を考えてしまうと考え方の根底がずれてしまう。

- ・ 比率ではなく絶対数では、私立幼稚園の方が障害児の受入人数は多いと思う。
- ・ 区立幼稚園を3年保育にすると、より多くの障害児が区立幼稚園に申し込むこととなる可能性があるのではないか。
- ・ アンケートで、区立幼稚園に期待する機能が満たされていた場合、私立幼稚園の保護者のうち40%超が区立幼稚園に入園すると回答している。3年保育の保護者の必要性は私立幼稚園がほぼニーズを満たしている状況で新たに公立園が実施する必要性があるのか疑問。
- ・ 区立幼稚園では、国が定める教育要領に基づき、遊びを中心とした主体的な学びを基礎とした教育を大事にしている。また、小学校との連携に当たっても、綿密に実践してきている。区立幼稚園としての良さは、遊びを中心とした教育の実践、小学校との手厚い連携、多様な他者とのかかわりを持てる環境、これが良さであると考えている。公立小学校の先生方との連携もお互いの研究を見合うよう行っている。
- ・ 地域コミュニティの核となり、地域の方と園児保護者、一般の保護者の方がかかわりをもてる環境となりうると思う。区の動きと一体化していくのも有効ではないか。
- ・ 今後具体的な施策を議論するに当たり、そもそもの区立幼稚園のありたい姿を明確化し、定量的に測定可能な形で目標を示していくことが重要ではないか。

【事務局】

- ・ 区としての区立幼稚園のあるべき姿について、現在は明文化されたものはない。そのため、こちらで議論の対象とさせていただいた。今日の議論の中で、区立幼稚園のあり方についてキーワードがいくつか見受けられたように思う。次回はそれらを基に具体的な施策まで検討し、お示ししたい。